

NEWS RELEASE

【報道関係各位】



2026年1月15日
一般財団法人 日本気象協会

2026年 春の花粉飛散予測(第3報) ～まもなく花粉シーズン 暖かい日は要注意 飛散のピークは2月下旬から～

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:渡邊一洋)は、2026年春の花粉飛散予測(第3報)を2026年1月15日(木)に発表します。詳細情報は「2026年春の花粉飛散予測資料(第3回)」として販売します。

また、日本気象協会とALINK インターネットが運営する天気予報専門メディア『tenki.jp(てんきじえーぴー)』花粉飛散情報ページ(<https://tenki.jp/pollen/>)にて、今日の花粉飛散情報や1週間先までの花粉予測を同日より無料で提供開始します。

■ 2026年春の花粉飛散予測(第3報)[一部抜粋]

<スギ花粉の飛散開始時期>

スギ花粉は2月上旬に九州や東海などで飛散開始(※1)となるでしょう。九州から関東の広い範囲では2月中旬、北陸から東北は2月下旬から3月中旬の見込みです。この先、2月にかけての気温は平年(※2)並みか高く、寒暖の変動が大きいでしょう。暖かい日には花粉がわずかに飛び始める見込みです。飛散開始は、ほぼ例年(※3)並みですが、東北では3月の気温が高い予想で、例年より早い所もあるでしょう。

<ピーク時期>

スギ花粉の飛散ピーク(※4)は、早い所では2月下旬からとなるでしょう。広い範囲でピークとなるのは3月上旬から中旬の見込みです。ヒノキ花粉のピークは3月下旬から4月上旬でしょう。ピークの時期は、スギ、ヒノキとも例年並みの見込みです。

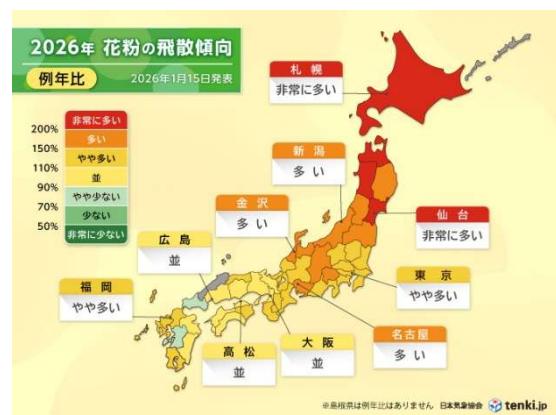
<飛散量予測>

2026年春の花粉(※5)飛散量は、西日本では例年並みの所が多いでしょう。一方、東日本と北日本では例年より多く、非常に多い所もある見込みです。

2025年夏は、全国的に高温・多照で、雄花が形成されやすい気象条件となりました。一方、2025年春(前シーズン)の花粉飛散量は、西日本では例年より多く、東日本と北日本では少ない傾向でした。

飛散量が多い翌年は雄花の形成が抑えられるため、2026年春の花粉飛散量は前シーズンと比べ、西日本では広い範囲で減少するでしょう。東日本と北日本は前シーズンより多く、非常に多い所もある見込みです。

今回発表する花粉の飛散量予測は、2025年12月2日に発表した「日本気象協会 2026年春の花粉飛散予測(第2報)」の内容を更新しています。日本気象協会が12月に実施したスギ雄花花芽調査や、環境省が発表したスギ雄花花芽調査結果をもとに、四国から東北の予測を一部修正しました。





※1 飛散開始日 : 1cm²あたり 1 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初の日

※2 年平年 : 過去 30 年(1991~2020 年)の平均値

※3 例年 : 過去 10 年(2016~2025 年)の平均値

※4 ピーク開始(終了)日:スギ花粉は 1 cm²あたり 50 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初(最後)の日

ヒノキ花粉は 1 cm²あたり 30 個以上の花粉を 2 日連続して観測した最初(最後)の日

※5 花粉 : スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ

本情報は、報道目的以外の無断での法人利用をご遠慮いただいています。商品の宣伝などで本情報の利用を検討いただく際は、必ず事前にお問合せください。

◆日本気象協会の花粉飛散予測とは

日本気象協会は 1990 年からスギ花粉の飛散予測を発表しています。日本気象協会の花粉飛散予測は、前シーズンの花粉飛散結果と気象観測データ、および雄花花芽の現地調査の結果などをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報をふまえて予測しています。

■(法人向け) 2026 年春の花粉飛散予測 各種有償サービスについて

日本気象協会ではシーズン全体の花粉飛散予測資料のほか、週単位の予測データなど、利用者のニーズに沿った予測資料の販売を行っています。

花粉症対策市場における商品の需要予測や販売計画、プロモーション計画などにご活用ください。

(1) 2026 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料

2026 年シーズンの予測を文章資料および画像でご提供いたします。

・都道府県別の花粉飛散量(例年比・前シーズン比)

・スギ花粉の飛散開始時期

・花粉飛散のピーク時期

・予測根拠

詳細資料はシーズン中に複数回の更新があります。時期により資料の項目は異なります。

(2) 週単位などの詳細な予測データの販売・花粉対策商材の需要予測コンサルティング

詳細な予測のご提供や、それらに基づくコンサルティングが可能です。

・週単位・都道府県別の花粉飛散量予測

・飛散量予測と独自モデルを利用した花粉対策商材(医薬品・マスク等)の需要予測

・売上要因分析レポートの作成

・ミーティング等によるデータ利活用支援のコンサルティング

詳細は以下にお問い合わせください。

有償サービスに関するお問い合わせ先

(1) 2026 年春の花粉飛散予測に関する詳細資料の企業での利活用について

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 メディア事業課

TEL:03-5958-8187 FAX:03-5958-8203 メールアドレス sales_pollen_media@jwa.or.jp まで

(2) 週単位などの詳細な予測データの販売・花粉対策商材の需要予測コンサルティングについて

一般財団法人 日本気象協会 防災・気象 DX 本部 気象 DX 事業部 気象デジタルビジネス課

TEL:03-5958-8154 FAX:03-5958-8203 メールアドレス ecologi_sales@jwa.or.jp まで